

【よろこび!】をテーマに表現したアール・ブリュットの公募作品

展覧会

あらゆるひとの表現

うみのもりの玉手箱3

部門1 絵画・彫刻（立体）
部門2 クラフト作品
部門3 フラッグの作品
部門4 詩等の作品

2024年

1月10日(水) - 21日(日)

千葉県立美術館 第4展示室

千葉市中央区中央港1丁目10番1号

入場無料

開館時間 9:00~16:30 (休館日は1月15日(月)/最終日の入場は16:00まで)

主催：千葉アール・ブリュットセンターうみのもり

共催：千葉県

後援：朝日新聞千葉総局 / 株式会社千葉日報社 / 公益財団法人千葉県文化振興財団

産経新聞社千葉総局 / 社会福祉法人千葉県身体障害者福祉協会 / チバテレビ

東京新聞千葉支局 / ペイエフエム / 毎日新聞千葉支局 / 読売新聞千葉支局

協力：社会福祉法人 オリーブの樹(フラッグ制作)



千葉県SDGs
パートナー

ちばSDGs

ちばSDGsパートナー 638号
(株)いのだまでは、SDGsの推進に取り組んでおり、
ちばSDGsパートナーに登録しました。

問合先



千葉アール・ブリュットセンター

うみのもり

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮2553-8 株式会社いのだま内

TEL・FAX 0475-36-7411 (受付時間 月～金 10:00～17:00)

MAIL info@uminomori.net WEB <https://uminomori.net>



WEB サイト

千葉アール・ブリュットセンター うみのもり

厚生労働省が進める「障害者芸術文化活動普及支援事業」における千葉県での支援センター業務を「千葉アール・ブリュットセンターうみのもり」が受託しております。

「うみのもり」は、障害のある子ども・おとな、なんらかの生きにくさのある子ども・おとな、そうした人々が自分を大切に感じ、創造的な文化や芸術を楽しみ、社会と「つながる」ことができるための活動を行っています。

アール・ブリュット (Art Brut) とは
フランス語で「生(き)の芸術」という意味で、「伝統や流行などに左右されず、作者自身の内側から湧き上がる衝動のままに表現した芸術」として、障害のある方も含めた芸術活動として考えられています。
フランスの画家ジャン・デュビュッフェ (Jean Dubuffet 1901-1985) が発案した言葉とされています。

千葉アール・ブリュットセンター うみのもりの主な活動

「うみのもり」では、障害者芸術文化活動促進のため、以下の活動を行っています。

1. 人材育成講座の開催



▲人材育成講座の企画開催 (音楽表現分野 / 令和5年度)

2. 相談対応



3. ネットワークの構築



4. 発表の機会の創出



5. 情報収集、発信



▲登録作品を展示に貸出し (千葉リハビリテーションセンター / 令和5年度)

展覧会

「あらゆるひとの表現 うみのもりの玉手箱」

千葉アール・ブリュットセンター「うみのもり」では、「千葉県障害者芸術文化活動支援事業」の1つ「発表等の機会の創出」として、公募展「うみのもりの玉手箱」を実施しております。

令和3年度からはじまったこの「うみのもりの玉手箱」。今年度で3回目を迎え、発表の場を千葉県立美術館に移しました。

この公募展が、障害のある方の日々の豊かな余暇活動、表現を通じての社会参加、仕事の創出、支援をする方との大切な時間を作り上げることに「つながる」芸術文化活動になることを願っております。

これまでの 「うみのもりの玉手箱」

令和3年度には、千葉市民ギャラリー・いなげにて開催。



『うみのもりの玉手箱』
展覧会の動画



令和4年度には、2箇所 (千葉市民ギャラリー・いなげ、まあるい広場ギャラリー cue9) にて開催後、千葉県東総文化会館ギャラリーで巡回展示をしました。



『うみのもりの玉手箱2』
展覧会の動画



相談受付中

電話、ファクス、メールでのお問い合わせも受け付けております。
TEL・FAX 0475-36-7411 MAIL info@uminomori.net
相談受付時間 月～金曜日 10:00～17:00



相談投稿フォーム

障害者芸術文化活動について何かお困りのことはありませんか？
「うみのもり」では、個人、福祉事業所、表現活動 (音楽・演劇・美術など) の教室・教育機関、文化施設など障害のある方を含めたあらゆる芸術文化活動に関わる方々のご相談を受け付けております。

～日頃の活動はコチラから～



WEB サイト



Facebookページ



X (twitter)



instagram